

再起動プロジェクト 公約遂行検証フェーズ「考え方」

「あんなか再起動プロジェクトチーム」では、令和4年10月末をもって、公約の各項目の整理を完了させた。公約を短期・中期・中長期に整理し、原課ご協力のもと、事業化シートを作成した。今後は、公約が遂行されているかの検証を行っていく仕組みが重要である。

一般論として、時間が経過すると公約の進捗を追いかけて、追いかけられたとしても検証が粗雑になることが多い(既に実施している内容をもってして公約を遂行したとみなすような事態)。

そのような事態を防ぐため、順次、公約遂行を検証するべく、「再起動プロジェクト本部会議(以下、本部会議)」を部長連絡会議実施後に開催し、且つ事前に「再起動プロジェクト分科会(以下、分科会)」を開催し、その中で担当幹部からヒアリングし、詳細の検証を行うこととする。



具体的な進め方・体制について

再起動プロジェクト 公約遂行検証フェーズ「進め方」

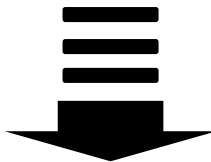
公約の一旦整理完了。短期、中期、中長期の順に公約の遂行状況を検証へ。

■再起動プロジェクト分科会 = 進捗状況について事業化シートをもとに検証

■(部長連絡会議開催後)
再起動プロジェクト本部会議 = 進捗状況報告・指示を受ける

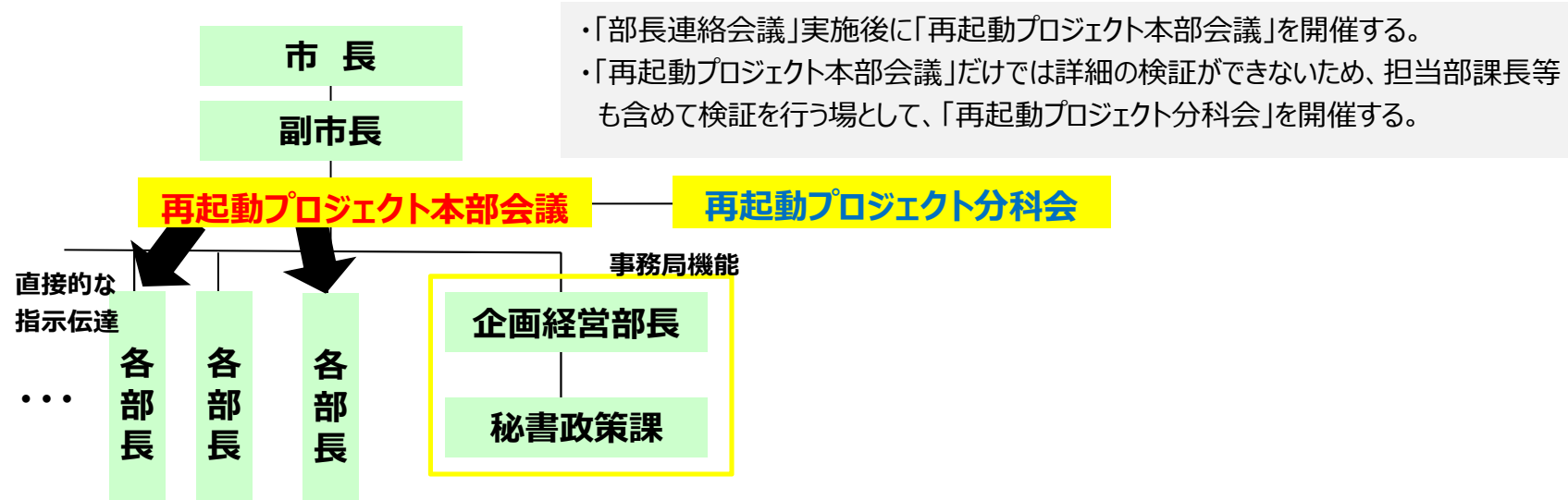
■再起動プロジェクト分科会 = 進捗状況について事業化シートをもとに検証

■(部長連絡会議開催後)
再起動プロジェクト本部会議 = 進捗状況報告・指示を受ける



一年に2度、公約進捗を確認する仕組み

再起動プロジェクト 公約遂行検証フェーズ「体制」



【会議の参加者】

■ 再起動プロジェクト本部会議

…部長連絡会議出席者(部長以上)に加え、議論対象の課長は参加可能。

■ 再起動プロジェクト分科会

…(毎回変更する)ヒアリング対象の部長及び課長、※副市長、企画経営部長、秘書政策課長、財政課長、資産活用課長、秘書政策課内事務局、外部関係者

【各部署の役割】

- ・企画経営部秘書政策課は事務局として、事業化シートの管理を行う。
- ・原課においては、「再起動プロジェクト本部会議」で出された指示事項が事業化シートに書かれており、それを実行し、次回の「再起動プロジェクト分科会・本部会議」で報告する。
- ・事業化シートは、「再起動プロジェクト分科会」前に事務局に提出する。

再起動プロジェクト 公約遂行検証フェーズ 「直近のスケジュール」

【本日】

12/26 再起動プロジェクト本部会議 = 秘書政策課所管の公約について進捗状況報告・指示を受ける



1/31 2/13・2/20の再起動プロジェクト本部会議での対象の事業化シート提出締め切り



2/6 再起動プロジェクト分科会 = 進捗状況について事業化シートをもとに検証

※年度内の部長連絡会議開催が限られていますので、イレギュラーですが、2/13・2/20の再起動プロジェクト本部会議での対象の事業化シートを検証します。



2/13 再起動プロジェクト本部会議 = 対象はR4年度に完結する7本 + 短期のもの8本について、進捗状況報告・指示を受ける

対象部署：情報戦略課、地域創造課、国保年金課、福祉課、健康づくり課、農林課、観光経済課、環境政策課、スポーツ課、文化財保護課



2/20 再起動プロジェクト本部会議 = 短期のもの22本について、進捗状況報告・指示を受ける

対象部署：資産活用課、情報戦略課、地域創造課、職員課、危機管理課、福祉課、子ども課、高齢者支援課、健康づくり課、建築住宅課、学校教育課、総務企画課



短期・中期・長期の順に検証していく